

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 札幌市立手稲西中学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
住所 〒006-0043
札幌市手稲区金山3条2丁目8-7
E-mail : teinenishi-j@sapporo-c.ed.jp
Website : _____
児童生徒数：男子 102 名 女子 84 名 合計 186 名
児童・生徒の年齢 12歳～14歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ユネスコ憲章の精神にのっとり、ユネスコスクールの理念の一つに「シンク グローバリー・アクトローカリー」～地球（世界）という大きな視野でものごとを考え、考えたことをその地域で行動・実践する～という言葉があります。世界との「つながり」や「かかわり」も意識して、手稲西中学校のユネスコスクールとして学習に取り組んでいます。

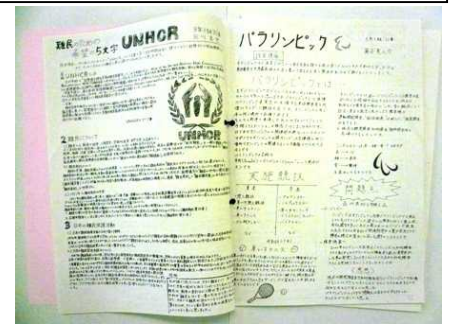
■2F ユネスココーナー



■総合的な学習の時間

1学年「環境・自然（問題）」2学年「職業・暮らし」3学年「福祉・社会保障・国際理解」をテーマに、個人個人が、調査活動や体験活動（1日日程で校外での追求学習も実践）を行い、報告レポートの作成、研究発表会等を行っています。

報告レポ ート



■教科

○技術・家庭科3学年では、手稲区の保健福祉部健康・子ども課の次世代育成支援事業と連携して幼児とのふれあいの授業で「赤ちゃんや幼児とその親に 来校してもらい生徒とのふれあいの場を設ける（年間2回）」、直に赤ちゃんに接することにより、命の重みを実感し、人権などを考えるきっかけの学習をしています。

○技術・家庭科3学年では、NPO法人日本時代衣装文化保存会の支援を受け、日本文化の伝統にふれる「和装着付け」の学習をする。異文化を理解するためには先ず自国の文化を理解する学習をしています。



赤ちゃんてすこい



着付教室

■特別活動

○生徒会の福祉局を中心にエコキャップ運動・リングブル回収運動・地域草むしり・東日本大震災で被災された皆様への募金活動など実践的な活動を行っています。

○学校祭で、校区「手稲養護学校」の生徒（車いす、知的障害）と老人ホーム神愛園「星置ハイツ」のお年寄りをお招きし、全校生徒とのふれあいのコーナー「ようこそ西中へ」を実践。また、次世代育成支援事業とも提携し「なかまや」キッズコーナーで赤ちゃんにもふれあう活動を行っています。また、手稲養護学校にも生徒会執行部と福祉局が訪問し交流しています。

※本年度は、これらの多彩な活動を認められ、本校福祉局が、「小さな親切」運動本部より実行章が贈られました。

学校祭 ようこそ西中へ



地域草むしり

養護学校訪問



「小さな親切」実行章受章

平成 26 年 11 月 28 日に本校生徒会福祉局が、東日本大震災募金、学校祭への近隣施設ご招待、公園清掃などの多彩な活動を認められ公益社団法人「小さな親切」運動本部より実行章が贈られました。東京ドームホテルで行われた贈呈式では、局員が、活動の様子を映像や掲示物で発表しました。同団体の高橋賢友代表から「実行章は、みなさんの活動に対する感謝の印。心優しい気持ちが地域に根ざし、社会全体に広がることを祈念します」という祝辞と実行章をいただきました。これらの活動は、福祉局が全校生徒に呼びかけたものであり、全校生徒を代表して授与されました。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（福祉局の活動としても実施）